令和6年12月
市川市教育委員会 定例会 会議録

市川市教育委員会

令和6年12月市川市教育委員会 定例会 会議録

- 1 日 時 令和6年12月6日（金）午後3時30分開議
- 2 場 所 市川市役所第2庁舎 大会議室
- 3 日 程
 - 1 開会
 - 2 会議成立の宣言
 - 3 議事日程の決定
 - 4 議案第27号 令和7年度教育振興重点施策の策定について
 - 5 報告第19号 令和6年度市川市一般会計補正予算（第5号）（うち教育に関する事務に係る部分）に関する臨時代理の報告について
 - 6 その他
 - 7 閉会
- 4 本日の会議に付した事件
 - 1 議案第27号 令和7年度教育振興重点施策の策定について
 - 2 報告第19号 令和6年度市川市一般会計補正予算（第5号）（うち教育に関する事務に係る部分）に関する臨時代理の報告について
 - 3 その他(1) 令和6年度中学生海外受入事業の報告について
- 5 出席者

教育長	勝山	浩司
委員	山元	幸恵
委員	田中	大介
委員	駒	久美子
- 6 欠席者

委員	大高	究
委員	広瀬	由紀

7 出席職員、職・氏名

教育次長	小倉	貴志
生涯学習部長	板垣	道佳
生涯学習部次長	六郷	真紀子
学校教育部長	藤井	義康
学校教育部次長	池田	淳一
学校教育部次長	小島	信也
教育総務課長	益子	隆史
教育施設課長	竹林	英介
青少年育成課長	館野	裕之
社会教育課長	渡邊	雅直
中央図書館長	米田	有貴子
義務教育課長	小林	義行
学校安全安心対策担当室長	大熊	和男
学校環境調整課長	三浦	将之
指導課長	関原	一久
就学支援課長	生澤	治
保健体育課長	清水	秀峰
学校地域連携推進課長	榎本	弘美
教育センター所長	横田	礼名

8 事務局職員、職・氏名

教育総務課	主 幹	須志原	みゆき
//	主 幹	川上	剛史
//	副主幹	新田	伸子
//	副主幹	稲葉	京子
//	主 査	木下	堯

○教育長

ただ今から、令和6年12月定例教育委員会を開会いたします。本日の会議は、委員の過半数が出席しておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により成立しております。この定例会の会期は、市川市教育委員会会議規則第3条第2項の規定により、本日1日といたします。本日の審議案件は、議案1件、報告1件、その他1件でございます。日程に従い議事を進めます。まず、「会議録署名委員の指名」を行います。市川市教育委員会会議規則第39条の規定により、会議録署名委員は、山元幸恵委員と田中大介委員を指名いたします。よろしく願いいたします。続いて、議事の進行を行う委員の指名を行います。市川市教育委員会会議規則第31条の2の規定により、教育長におきましては、山元幸恵委員を指名いたします。山元幸恵委員、よろしく願いいたします。

○山元幸恵委員

かしこまりました。それでは、議案に入ります。議案第27号「令和7年度教育振興重点施策の策定について」を説明してください。

○教育総務課長

教育総務課長です。議案の1ページをお願いいたします。本教育振興重点施策は、令和7年度の教育の振興を図るために定めるものでございます。議案の2ページ、3ページをお願いいたします。過日、開催されました総合教育会議において、これからの市川市の教育の発展充実に向けて、市長と目指す方向性を共有いたしました。その中で教育委員の皆様からいただきましたご意見を反映させるとともに、現在の教育行政を取り巻く状況の変化に鑑み、令和7年度教育振興重点施策の案を作成いたしました。今年度は、新たな課題のある施策やさらに充実が必要な施策など全部で6つの施策を掲げております。1つ目は、子どもたちの「生きる力」の育成（学ぶ力・道徳心・体力・社会の変化に対応する力）です。子どもたちにとって魅力的な授業を目指して、一層の授業改善を行い、学ぶ力や心身の健康の増進、体力の向上に努め、一人ひとりの子どもの能力を伸ばし、生きる力を育てます。幼保小中一貫教育を進め、特に、幼児教育の質の向上及び小学校教育との円滑な接続を目指すとともに、異校種間や官民を超えた施設間の交流により、互いの理解を深め、子どもの個に応じた継続的な指導につなげてまいります。2つ目は、多様な教育ニーズへの対応です。特別な支援を必要とする子どもや、外国人児童生徒の個々の教育ニーズに寄り添い、成長を育むとともにさまざまな学びの充実、環境整備に努めます。不登校児童生徒やその保護者が孤立しないよう、学習機会や居場所の確保、他機関との連携など、将来を見据えた取組を進め、環境を整備してまいります。3つ目は、教職員が輝ける環境の確保です。近年の若年層教員の増加に鑑み、経験

の浅い教職員の指導力向上を目指し、各種研修や教育センター機能等の充実を図ります。学習用端末の利活用の日常化や教職員のICT活用指導力の向上に加え、効率的な校務処理を実施するための校内ICT環境整備を持続的、継続的に進め、さらには部活動の地域展開を広げるなど、働き方改革につなげてまいります。4つ目は、教育関係施設の環境整備です。子どもたちが学校で安心して過ごすことができ、教職員が真摯に子どもたちと向き合うことができる場づくりに努めます。特に、体育館のエアコン整備をはじめ、必要な修繕を図るなど学校の環境づくりを進めます。また、公民館、図書館、博物館などの教育関係施設は、誰もが使いやすく、居心地のよい場を提供できるよう整備を進めてまいります。5つ目は、人生百年時代に対応した生涯学習の充実です。誰もが、生涯にわたって、学びたいときにいつでも身近に学ぶことのできる環境の整備を進めます。また、人と人とのつながりや関わりをつくり出せる、地域に密着した多様な学びの場を提供してまいります。最後は、市川市がもつ文化資産の活用、保護です。本市に存在する貴重な文化財を未来の市民に継承するため、指定文化財の保護と活用を図り、博物館の活用を進めます。国府台遺跡では国庁や国衙の遺構を確認する調査を進めるとともに、来年度本市で開催予定の「国府サミット」に向け、関係部署と連携し、様々な取組を行ってまいります。以上6点を令和7年度教育振興重点施策として位置づけ、施策の実現に取り組んでまいりたいと考えています。説明は、以上でございます。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

○山元幸恵委員

説明は終わりましたが、質疑はございますでしょうか。特に質疑がないようですので、議案第27号を採決いたします。本案を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○山元幸恵委員

挙手全員であります。本案は原案のとおり可決いたしました。続きまして、報告に入ります。報告第19号「令和6年度市川市一般会計補正予算(第5号)(うち教育に関する事務に係る部分)に関する臨時代理の報告について」を説明してください。

○教育総務課長

教育総務課長です。議案の5ページをお願いいたします。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条により、市長から「令和6年度市川市一般会計補正予算(第5号)」のうち、教育に関する事務に係る部分について意見を

求められました。しかしながら、特に緊急を要するため会議を招集する時間的余裕がなかったことから、市川市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第2条第1項の規定により、教育長が令和6年11月14日に臨時に代理し、異議のないものとして市長へ回答いたしましたので、同条第2項の規定により、ご報告いたします。

歳入歳出補正予算のうち、先に歳出予算について、ご説明いたします。議案の8ページ、中段をご覧ください。はじめに、第11款・教育費、第2項・小学校費、第1目・学校管理費についてです。第10節・需用費におきまして、小学校施設等における修繕箇所の増加等により不足が見込まれるため、施設修繕料として4,500万円を増額するものです。次に、第14節・工事請負費におきまして、緊急時に避難所となる体育館へ新たに冷暖房機を設置するため、改修工事費として3億6,000万円を増額するものです。また、第17節・備品購入費におきまして、次年度当初の見込みによりクラスの増が見込まれることから、教卓やロッカー等の学校用備品費として375万円を増額するものです。次に、第3項・中学校費、第1目・学校管理費についてです。第10節・需用費におきまして、先の小学校費と同様の理由により不足が見込まれることから、施設修繕料として3,000万円を増額するものです。また、第17節・備品購入費におきましても、小学校費での説明と同様に、教卓やロッカー等の学校用備品費として150万円を増額するものです。次に、第2目・教育振興費についてです。第18節・負担金補助及び交付金におきまして、当初の見込みに対し、上位コンクール等への出場校が増加したことにより不足が見込まれるため、交付金として90万8,000円を増額するものです。次に、第4項・学校給食費、第1目・学校給食費についてです。第10節・需用費におきまして、給食調理用備品の劣化に伴う突発的な修繕の増により不足が見込まれるため、物品等修繕料として300万円を増額するものです。また、第17節・備品購入費におきまして、当初の見込みを上回る備品の故障や買替が必要となったため、学校用備品費として500万円を増額するものです。次に、第6項・社会教育費、第2目・文化財費についてです。第16節・公有財産購入費におきまして、史跡曾谷貝塚公有化事業の測量の結果、土地の実測面積が登記簿上の面積より増加したため、土地購入費として327万1,000円を増額するものです。以上、歳出予算につきましては、合計で4億5,242万9,000円を増額をするもので、今回の補正により、歳出予算全体の合計額は、158億3,065万2,000円となります。

続きまして、歳入予算について、ご説明いたします。議案8ページの上段をご覧ください。はじめに、第14款・国庫支出金、第2項・国庫補助金、第6目・教育費国庫補助金についてです。第5節・社会教育費国庫補助金におきまして、歳出予算にて説明しました、史跡曾谷貝塚公有化の事業費が増額したた

め、国庫補助金におきまして 261 万円を増額するものです。次に、第 21 款・市債、第 1 項・市債、第 8 目・教育債についてです。第 1 節・小学校債におきまして、歳出予算にてご説明いたしました体育館への冷暖房機設置工事に伴い、市債として 3 億 6,000 万円を増額するものです。また、第 3 節・社会教育債におきましては、先ほどの国庫補助金と同様の理由により、市債として 60 万円を増額するものです。以上、歳入予算につきましては、合計で 3 億 6,321 万円の増額をするもので、今回の補正により、歳入予算全体の合計額は、27 億 5,802 万 3,000 円となります。

続きまして、議案 9 ページをお願いいたします。繰越明許費の補正についてです。先ほど歳出予算にてご説明いたしました、体育館への冷暖房機設置の費用におきまして、今年度中に契約するものの、着工が新年度になることから 3 億 6,000 万円を計上するものです。次に、債務負担行為補正についてです。須和田の丘支援学校におけるスクールバス送迎委託費におきまして、送迎を必要とする児童生徒の増加に伴い、令和 7 年 4 月からバス 1 台を増車し、円滑な運行を委託するため、令和 6 年度内に契約締結する必要があることから、限度額 1,100 万円を追加するものです。また、下総国府等デジタルコンテンツ作成委託費におきまして、国府台スポーツセンター等で行った下総国府の発掘調査等の進捗に伴い、国府等の概要を、現場に訪れた市民等に周知する、VR コンテンツの作成が必要となったことから、限度額 2,300 万円を追加するものです。次に、学校保健定期健康診断委託費におきまして、委託業務の効率化を図るため、令和 7 年度より学校職員定期健康診断を結核定期健康診断と同時実施することから、補正前の限度額である 3,500 万円から、4,200 万円へ限度額の変更をするものです。最後に、地方債補正についてです。先程、歳入予算にてご説明いたしました体育館への冷暖房機設置工事及び史跡曾谷貝塚用地購入に対し、市債を増額することに伴い、市債の限度額についても変更する必要があることから、補正前の限度額である 3 億 5,700 万円から、市債の補正額と同額の 3 億 6,060 万円増となる、7 億 1,760 万円へ限度額の変更をするものです。説明は以上です。

○山元幸恵委員

説明で説明は終わりましたが、ご質問、ご意見はございますでしょうか。特にないようですので、報告第 19 号を終了いたします。続きまして、その他に入ります。その他(1)「令和 6 年度中学生海外受入事業の報告について」を説明してください。

○指導課長

指導課長です。11 ページをお願いいたします。令和 6 年度の市川市中学生海外派遣事業（受入）につきまして、ドイツからの派遣団が 11 日間の受入日

程を無事に終え、10月29日に帰国いたしましたことをご報告いたします。今年度は、10月19日から29日までの11日間、メートヒェン・リアルシューレ校から、引率教諭2名とともに16名の生徒を受入いたしました。ドイツからの受入生徒は、7月に派遣いたしました本市生徒の家庭でのホームステイや生徒が通う中学校での学校体験、市内及び県内の視察などを通して、日本の伝統や文化、日常生活などに直接触れ、貴重な体験ができたものと感じております。今回は、ドイツ派遣に引率いたしました2名の日本の教諭も県内視察に同行しており、教諭同士の交流も更に深めることができたものと思っております。滞在した11日間は瞬く間に過ぎ、10月29日の帰国日には、別れを惜しむ生徒たちが涙をこらえきれずに、何度もハグする姿が見られ、交流の成果を強く感じて終えることができました。報告は以上でございます。

○山元幸恵委員

説明は終わりましたが、ご質問、ご意見はございますでしょうか。特にないようですので、その他(1)を終了いたします。本日予定しておりました議案の審議はこれで終了いたしました。それでは、教育長お願いいたします。

○教育長

それでは、その他教育委員の皆様から、ご意見・ご要望がありましたら承りたいと思います。いかがでしょうか。よろしいですか。これをもちまして、令和6年12月定例教育委員会を閉会いたします。